



平成27年度 助産師職能集会報告



初夏の候、ますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。皆様にはますますご健勝の事とお喜び申し上げます。先日6月27日には、無事、助産師職能集会を終えることが出来ました。

特別講演では山口県済生会下関総合病院 看護師長 松本祐子先生より『助産師実践能力習熟段階レベルⅢ認証に向け、当院の体制整備』について講演をしていただきました。



- 講演後、活発な質疑が行われました。
- ・クリニカルラダー認証に向け、スタッフへの啓蒙活動行っていくことが難しい。
 - ・病院組織全体で取り組まれていることが具体的で参考になった。
 - ・現在使用している部署ラダークリニカルラダーとの整合が参考になった。など、活発な意見交換もできました。

いよいよ、2015年8月に助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）“GLoCMiP（クロックミップ）”レベルⅢ認証制度が始まります。日本助産評価機構がレベルⅢを認証し、認証を受けた助産師は、「アドバンス助産師（advanced midwife）」と呼称されます。

皆様お一人お一人が、アドバンス助産師として活躍できるように、認証申請することを願っています。

午後からは保健師・助産師職能合同交流会を開催しました。

山口県健康福祉部こども・子育て応援局 子供政策課 保育・母子保健班 主査 林 直美先生より『切れ目のない妊娠・出産・子育て支援の推進～妊娠出産包括支援事業の概要について～』講演していただきました。



支援事業の内容は、妊娠・子育てを継続的に産褥婦の状況を把握し、必要に応じて、家庭訪問し個別に対応していることや、同じ悩みを持つ妊産褥婦に対して集団指導による相談対応など、切れ目のない支援の取り組みについて理解が深まりました。この事業の取り組みについて学ぶとともにお互いの役割を理解でき今後の活動に役立てる内容でした。

ひきつづき、光市子ども家庭課 子ども相談係 係長
田中 満喜先生に『子育て包括支援センターの取り組み』
について 講演していただきました。



光市の おっばい都市宣 『みつめ
だきしめ かたりあう』愛情豊かな ふれあい
子育てを推進していくための取り組みについて
大変参考になりました。体制づくりとして
子供ネットワークを構築し妊娠期からの子育て
の相談整備され支援の取り組み方法について
光市に住むすべての人が共有できるように取り
組みを行われていました。

講演後は、アイスブレイクを市別にグループに分かれ 助産師・保健師集まり、自己紹介、情報交換
など 30 分間行いました。日頃からの、病院からの情報のながれ、保健師さんの家庭訪問の状況など具体
的な、優先順位の活動内容など、お互いがどのように動くことでタイムリーな母児支援ができるのか意
見交換を行い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



妊娠からの子育て支援期にわたる支援の充実のため 助産師・保健師が顔の見える関係をつくる
ことでより、互いの役割の理解が深まりました。

今後は妊娠出産・子育て期にわたる継続的なケアを安心して受けられる環境づくりに、助産
師・保健師が協力し合いががんばりましょう。